品川区立第三日野小学校
おやじの会

おやじ通信

平成23年12月7日 おやじ新聞41
発行：おやじの会 会長　山田　晃
おやじの会 顧問　山口敏彦

PTA主催による三日野恒例のお餅つき大会の支援を行いました。冷たい雨が降る中、400人を超える児童・保護者が集まりました。今年もつきたての美味しいお餅がたっぷりと、参加者のお腹に収まっていきました。

三日野PTAお餅つき大会（12月3日）

毎年12月の最初の土曜日。早朝からPTAの担当者とおやじの会が協力しながら、お餅つきの準備作業が始まりました。今年は生憎の雨、9月に完成した新校庭での開催は来年に持ち越しとなりましたが、北館１階の下駄箱周りと屋根のある校舎外のスペースを利用して、例年通りの餅つき大会が開催されました。　（写真：準備作業を行うおやじ達、機械の準備をする日野屋さん、機械への餅米注入）

PTAのお母様方も、出来上がったお餅を次から次へと小分けして、あんこ、きな粉、納豆、磯辺の４種類に分類していきます。おやじ達が操作する餅つき機は、帯状に蜷局を巻いたお餅をどんどんついていきます。休む間もない作業が延々と続きます。

餅つき体験は、まずプロ顔負けのおやじから餅つきのやり方が紹介され、つき方のデモンストレーションを示した後、やりたい児童に体験をしてもらい、お餅を食べるという順番です。PTAの役員さんも、そして最後に、宮﨑副校長先生と江口先生が、息の合った餅つき作業のお手本を見せて下さいました。皆さん本当にお疲れ様でした。

《編集後記》

今年は珍しく、挙行中のみ、冷たい雨が降り続きましたが、片付けが終わる頃には日差しが見え隠れしていました。いったい誰のせいなんでしょうか。O先生？　I先生？　どちらの先生もいらっしゃいませんでしたが。つきたてのお餅の味には変わりはありません、念のため。 (文責山田)